

誕生日前!! 新紙幣発行記念作品

近代日本経済の父 **渋沢栄一** (1840~1931 年)

1840年、武蔵国血洗島(現・埼玉県深谷市)に、豪農・渋沢家の長男として生誕。旧恩ある徳川慶喜のもとで働いていたが、近代的な経済システムへの理解を請われ、明治新政府に仕出。鉄道や電信の敷設、新貨幣制度制定などを手掛けた。1873年に日本初の第一国立銀行を創設し、多くの企業設立を支援。後に飛鳥山(現・王子駅付近)に居を構え、1931年に逝去するまでをそぞろで過ごした。

渋沢が設立を支援した主な企業

東京電灯会社(現:東京電力ホールディングス)、東京瓦斯(現:東京ガス)、日本鉄道(現:JR東日本)王子製紙(現:王子ホールディングス・日本製紙)、東京海上保険(現:東京海上日動)、大日本麦酒(現:アサヒビール・サッポロビール)、帝国ホテル、浅野セメント(現:太平洋セメント)、日本皮革(現:ニッピ)等

日本経済の発展を
象徴する珠玉の逸品!

価値ある
純金30g!

**こばん
小判**

大判は驚愕の
純金 100g

おおばん
大判

純金

日本屈指の金工師

まつ い まさ みつ
松井正光 謹製

日本製 東京書芸館オリジナル作品

し
ぶ
さ
わ
え
い

沢栄

発展

大判 | 小判

造幣局刻印入り

各限定10

我が国の近代化に
生涯しょうがいを捧げた渋沢栄一しぶさわ えいいち——。
最高額紙幣の顔となる
彼の功績たを称え、
日本屈指の金工師が
その情熱を注いだ黄金芸術

新紙幣と共に振り返る日本経済の発展

ではなく、熱意と共に日本の発展に尽くした二人の英雄の輝きを、確かに宿した仕上がりとなっております。

に渡る企業設立の支援など、まさに現代に至る社会基盤を作り上げた、日本経済の父とも言ふべき偉人。個人の利益ではなく、社会全体の豊かさを追求した彼の功績があつたからこそ、私たちは今日、日本を形作る事ができたのです。

日本屈指の金工師が情熱をもって挑戦

■渋沢栄一が新紙幣に刻まれるこの瞬間を記念して、渋沢栄一の肖像を施した『純金大判』『純金小判』を謹製いたしました。日の丸と富士、桜という日本を象徴する意匠があしらわれ、表情・威厳を克明に表現した渋沢栄一の肖像の左右には、吉祥を予感させる鳳凰が飛翔。まさに、日本経済の発展とその祝福を、枚の大判小判に詰め込んだデザインと言えそうです。

■彫金を手掛けたのは、国宝の修復にも携わった日本屈指の金工師 松井正光。洪沢栄を心から尊敬している松井氏は、自らの脚で記念館や資料館

新紙幣発行という、まさに経済の節目となる年。今だからこそ手にする価値がある本作品を、ぜひご所蔵ください。各限定10。

朝日が昇る富士山まで美しく精緻な彫り

作り直すなど、
人生を賭すほ
どの情熱をもつ
てこの仕事を
成し遂げまし
た。そこに紡が
れる渋沢翁の
御尊顔は、単
なる偉人の肖像

**地球上に限りある資産「純金」。
現在、価格高騰が止まりません。**



※相場は需要により変動します。※2024年4月現在

混乱する世界情勢により、金価格は軒並み暴騰を続けています。2024年、地金価格はなんと1グラム10,000円(税込)超えが当たり前の時代に突入。今という有事に安全資産としてお求めください。

日本屈指の金工師 **まつ い まさ みつ** 松井正光 略歴



昭和13年、富山県生まれ。昭和29年、伝統工芸士・松井恒次郎氏に師事。彫金技術の研鑽に努める。昭和60年、国宝「平家納経」の装飾金具をはじめ、重要文化財など数多くの文化財の復元・複製を手掛ける。その一方で、大規模優勝臨杯や東京マサンのメダル、プロレスリング大日本などのトロフィーなどを製作。その手腕は国内に留まらず、世コンテストの王冠やティアラ、サッカーカーなど米国の象徴を多数手掛ける。今師として名声を博している。

頒布価格(税込)『渋沢栄一 発展 大判／小判』

大判 月々126,632円×24回(計 3,039,168円)
一括2,640,000円 (実質年率13.91%)

小判』月々 43,170円×24回 (計 1,036,080円)
一括 900,000円 (実質年率13.91%)

お申込み方法 ハガキ・FAX・ネットまたは電話で、お申し込みください。

届け方は受注から約2~3ヵ月後。発送手数料は資料に一点につき1,650円(税込)。一括払はクレジットカードでもよく前払返(振込手数料資料費本社負担)。分割払はクレジットカードでも、分割金額につまじしては各クレジットカード会社様の規定に準じます。現品到着後8日以内なら瑕疵なき限り、送料自己負担で返品可。当社基準により、ご希望にお支払い方法に取れない場合がございます。※当社個人情報取扱に関する内容はお客様窓口へお問い合わせください。

FAX 03-3762-7609 フリーダイヤル 0120-807-577

芸術と文化の殿堂 **100** 周年
東京書芸館



LINE友だち追加で
最新作品の告知やサイン

F140-8536
東京都品川区南大井3-28-10